

## 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区

### 体験的歴史学習基本構想

#### 参考資料（案）



# 目次

( 1 ) 近年の飛鳥地方の歴史的風土及び文化財の保存活用にかかる動向 .....	1
1 ) 古墳壁画の保存活用に関する検討会 ( 第 2 回 ) .....	1
2 ) 檜隈寺跡および周辺、檜前遺跡群の概要 .....	2
3 ) 世界文化遺産暫定リスト「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」について .....	8
4 ) 奈良文化財研究所飛鳥資料館「キトラ古墳壁画四神 特別公開」の来訪動向 .....	12
5 ) 村内の活動団体 .....	13
( 2 ) 国営飛鳥歴史公園への来園者 .....	14
( 3 ) 飛鳥地方の既存施設の現況 .....	15
( 4 ) キトラ古墳周辺地区で行う体験的歴史学習に求められる役割 .....	20
( 5 ) 体験的歴史学習プログラム ( 案 ) .....	21
1 ) 体験的歴史学習プログラムの構成 .....	21
2 ) 体験的歴史学習プログラムの展開 .....	24
3 ) 体験的歴史学習プログラムのターゲット別の展開 .....	26
( 6 ) 管理運営について .....	31
1 ) 管理運営に参画する可能性のある各主体及び参画時の効果 .....	31
2 ) 管理運営イメージ .....	32



## ( 1 ) 近年の飛鳥地方の歴史的風土及び文化財の保存活用にかかる動向

### 1 ) 古墳壁画の保存活用に関する検討会 ( 第 2 回 )

平成 22 年 5 月 24 日、文化庁において「古墳壁画の保存活用に関する検討会 ( 第 2 回 )」が開催され、「キトラ古墳壁画の保存管理施設について(素案)」が了解された。

#### キトラ古墳壁画の保存管理施設について(素案)

##### 1 . 保存管理の場所

キトラ古墳の壁画については、恒久的な保存を図る観点から、当面の間、石室外の適切な施設で保存管理することとしているが、壁画は、古墳の重要な構成要素であり、現地の石室内で保存されることが基本であることから、古墳の諸要素である墳丘・石室・壁画は可能な限り近いところで、一体的に保存する。

したがって、現在、キトラ古墳周辺においては、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区として整備されることが計画されていることから、保存管理する場所は、公園内を基本として検討する。

##### 2 . 保存管理施設の設備・条件について

保存管理・公開施設に求められる設備・条件等については、「文化財公開施設の計画に関する指針」の考え方や意図、内容等を十分反映した上でキトラ古墳壁画の諸事情に対応していく。

壁画の保存・展示・修理・メンテナンスの機能を一体とする。

##### 3 . 壁画の展示活用について

壁画の保存を最優先とした上で、可能な限り、展示活用を実現する。

壁画の展示活用を実現するに当たっては、「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」に準じながらも、キトラ古墳という文化財を体験的に理解できるような展示方法を検討する。

##### 4 . 保存管理施設の管理運営について

壁画の保存管理については、関係機関と連携しつつ、文化庁が主体となっていく。

管理運営は、学芸員や修理技術者等の人員配置も含めて、保存・展示・修理・メンテナンスの各々が有機的に機能するよう検討する。

管理運営の組織や体制については、重要文化財等の保存管理・公開に関する取扱いに十分なノウハウのある既存の組織や施設と連携する。

##### 5 . その他

上記の内容が可能な限り実現されるよう、地元自治体を含め、(独)国立文化財機構、国土交通省等の関係機関と十分協議する。

## 2) 檜隈寺跡および周辺、檜前遺跡群の概要

檜隈寺跡（築造推定年代：飛鳥時代後期 所在地：明日香村大字桧前）

### 国史跡指定当時の学術調査の動向

（出典：明日香村総合管理計画策定調査報告書 2005 年 3 月）

#### 1. 概要

大字桧前に所在した檜隈寺の創建、沿革についてははっきりしないが、有力渡来人集団の一つである東漢（やまとのあや）氏の氏寺として知られ、高取山から北西にのびる舌状台地の先端部に位置している。

檜隈寺は後に道興寺となったが、明治時代に入り道興寺は廃滅し、明治 40 年頃その旧寺地に東漢氏の祖とされる阿知使主（あちのおみ）を祭る於美阿志神社が移転して現在に至っている。

檜隈寺跡遺跡は、台地の馬背を整地した平坦地には 3 つの基壇と礎石の一部が残っており、南北に金堂と講堂を配し、回廊で連ね、その内側東よりに塔が建ち回廊の出入は西に門が開くという、従来の概念にあてはまらない伽藍配置になっている。また、講堂は飛鳥地方では例をみない瓦積基壇を有する。しかし、未調査の部分が残っており、検討の余地が残る。

平成 15 年（2003 年）に台地上の伽藍想定部が国史跡として指定される。また、塔跡には平安時代後期の十三重石（於美阿志神社石塔婆、重文）があることで有名である。

#### 年表

7 世紀後半	金堂、西門建立
7 世紀末	講堂、塔建立
奈良時代	部分的に補修されつつ維持
平安時代後期	講堂の瓦積基壇が崩れ玉石で補修、塔の倒壊 十三重石塔建設
中世	講堂倒壊
江戸時代中期	十三重石塔のみ存在
明治 40 年頃	於美阿志神社が移される（江戸時代までは現在より道を隔てた西方）
平成 15 年	国史跡指定

#### 2. 発掘調査の概要

檜隈寺跡の発掘調査は、昭和 44 年（1969）十三重石塔（重文）の解体修理に伴う土壇の発掘調査を奈良県教育委員会が行ったのをはじめ、奈文研により継続的に行われてきた。塔の規模と構造を明らかにするとともに、出土瓦から塔が 7 世紀末から 8 世紀初頭に造営されたことを推定した。

昭和 54 年（1979）の奈文研第 1 次調査では、南門推定地を調査したが、中世以降の遺構のみ確認され、見るべき遺構は検出されなかった。

昭和55年(1980)奈文研第2次調査では、従来中門と考えられてきた土壇状の高まりに焦点を合わせて発掘調査が行われたが、予想に反して、桁行3間、梁行2間の身舎に四面廂を持つ礎石建物を確認し、特異な構造であることなどから金堂であったと推定された。また、出土瓦から7世紀代後半と比定された。

昭和56年(1981)奈文研第3次調査では、講堂跡とその基壇、付属施設として階段、雨落溝、足場穴等を検出した。また、講堂廃絶後に基壇上に三間堂形式の仏堂が建てられていることが判明した。講堂跡は、桁行100尺、梁行52尺あり、飛鳥寺の講堂に匹敵することが明らかとなった。基壇の外装工法はいわゆる瓦積基壇で、飛鳥地方の寺院では初めての発掘例であった。また、金堂からやや遅れて講堂、塔が建てられたという造営過程が明らかとなった。

昭和58年(1983)奈文研第4次調査では、塔西方の小土壇は礎石建ち建物の基壇で門跡であると考えられることが明らかとなり、塔の東では東回廊の遺構を検出した。東回廊は桁行3.7m、梁行3.6mの単廊であることが明らかとなった。講堂北方の調査では、表土層の直下で花崗岩風化土の地山があらわれ、檜隈寺に関する遺構や遺物は認められなかった。

これまでの一連の調査から、門跡は講堂と金堂のほぼ中点の西方にあり、塔のほぼ西正面に位置することや、建物方位がお互いに共通していることなどから、一体の伽藍を構成することが明らかとなった。この時点での伽藍配置が想定されたものの、調査が小規模であるうえ、遺構の残存状況が悪く、東回廊についても、北側を大きく削平されているなど、伽藍全体を合理的に理解するにはなお課題が多い。

#### 主な発掘調査の概要

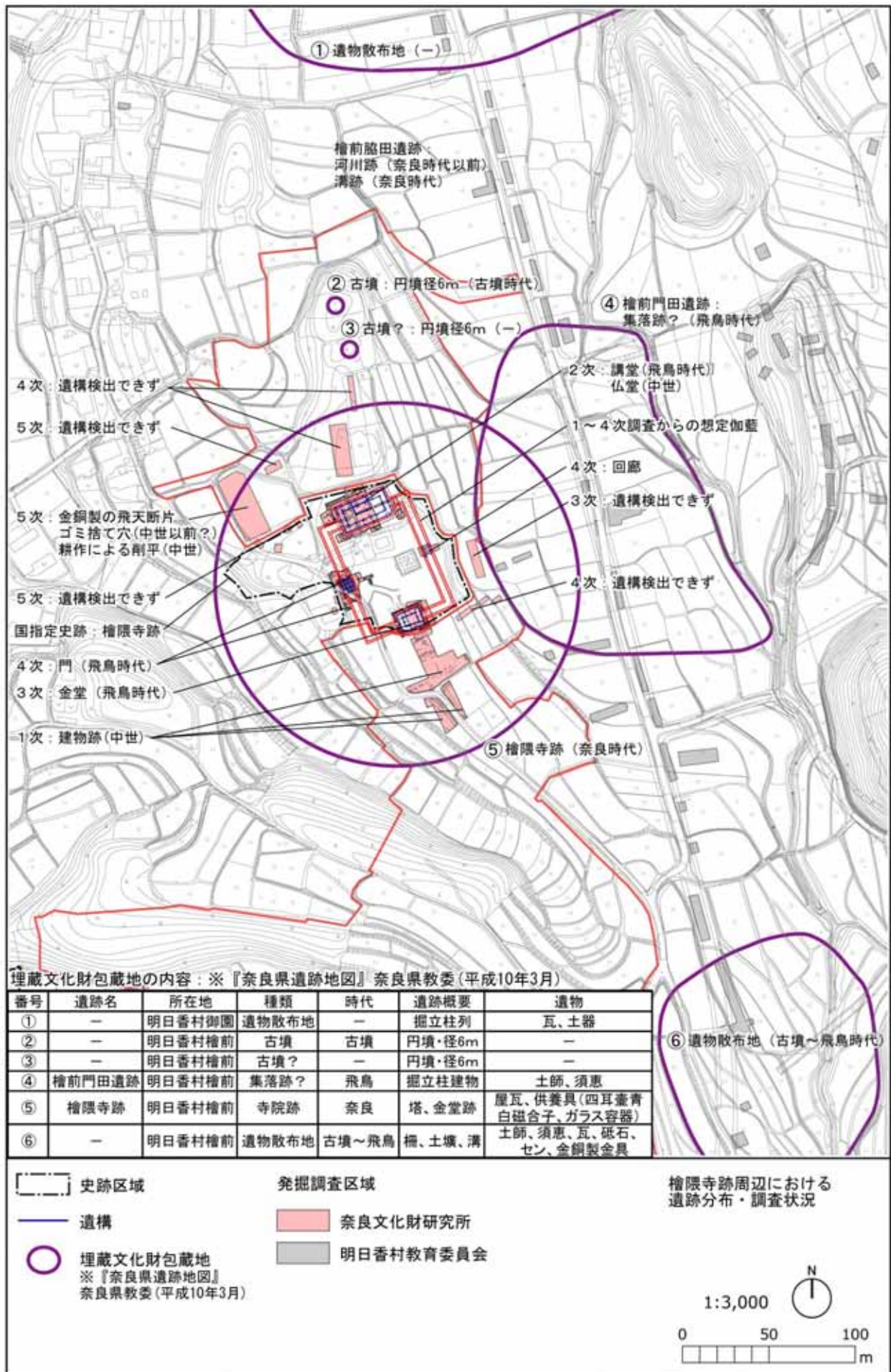
1969	檜隈寺跡発掘調査	1	十三重石塔(重文)の解体修理に伴い土壇の発掘調査
1979	檜隈寺跡第1次調査	2	南門遺構は確認できず、中世以降の遺構のみ確認
1980	檜隈寺跡第2次調査	2	金堂と推定される基壇建物(奈文研2次)
1981	檜隈寺跡第3次調査	2	講堂とその瓦積基壇、階段、雨落溝の検出 基壇上で講堂廃絶後とみられる礎石建物を検出
1982	檜隈寺跡第4次調査	2	基壇建物(門と推定)と東面回廊の一部を検出

1 奈良県教育委員会による発掘調査

2 奈良国立文化財研究所による発掘調査

註1:「檜隈寺跡第4次調査」以降、第5次調査が講堂北西部の水田地において行われたが、中世の工作による削平を受けており金銅製の飛天断片が遺物として検出された他、特筆すべき遺構は検出されなかった。

註2:平成17年3月明日香村により講堂基壇部分の保存整備が行われた。

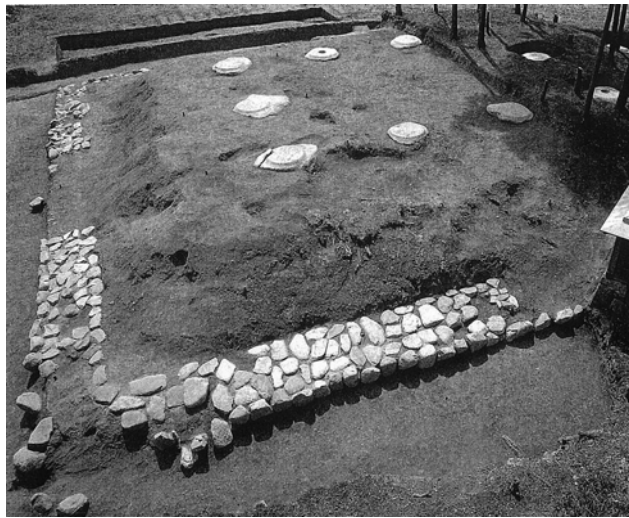




遺構出土状況



檜隈寺跡講堂瓦積基壇



檜隈寺跡金堂跡

遺構整備状況

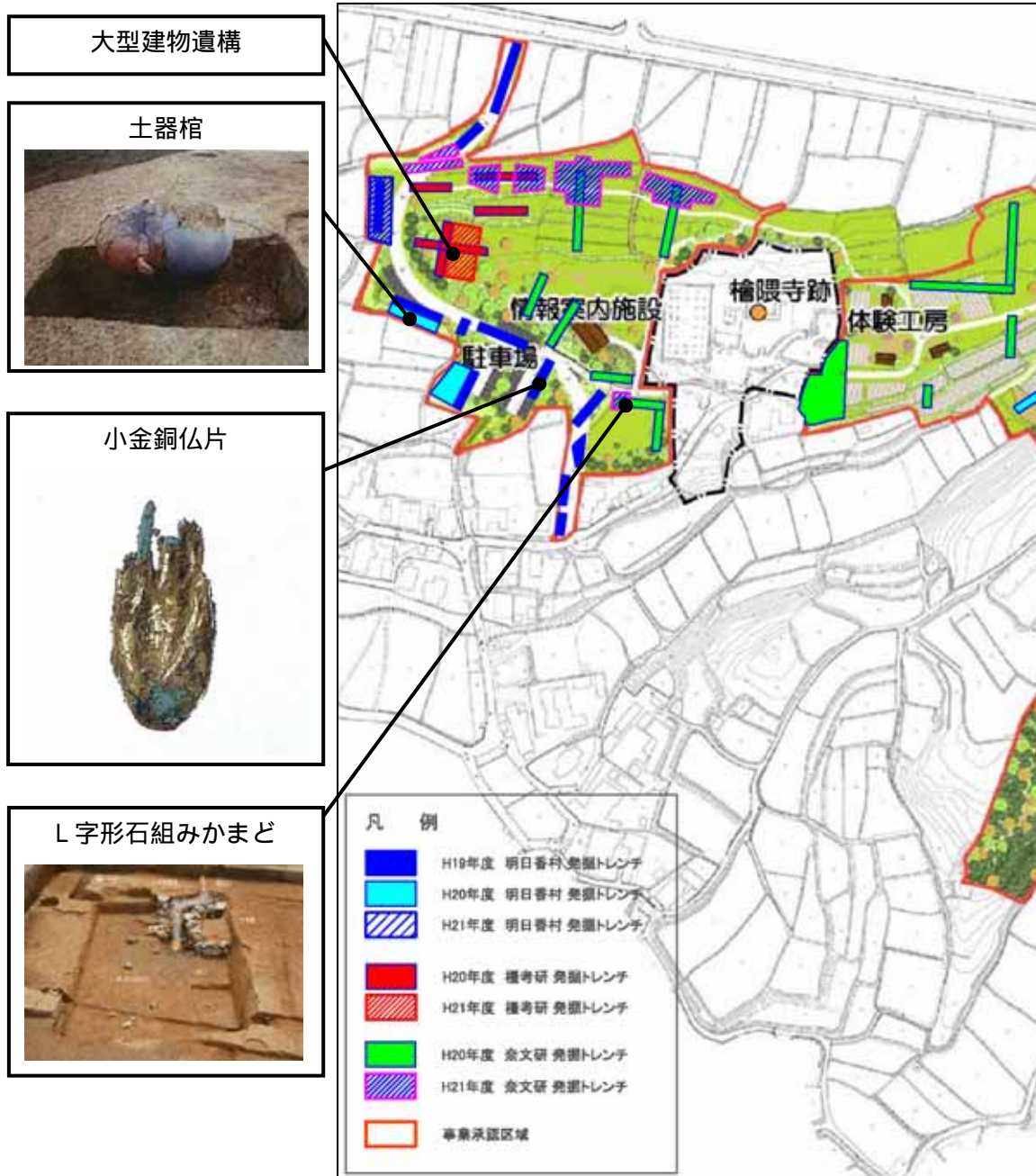


講堂跡整備

## 檜隈寺跡史跡指定区域周辺において検出された遺構

### 学術調査の動向

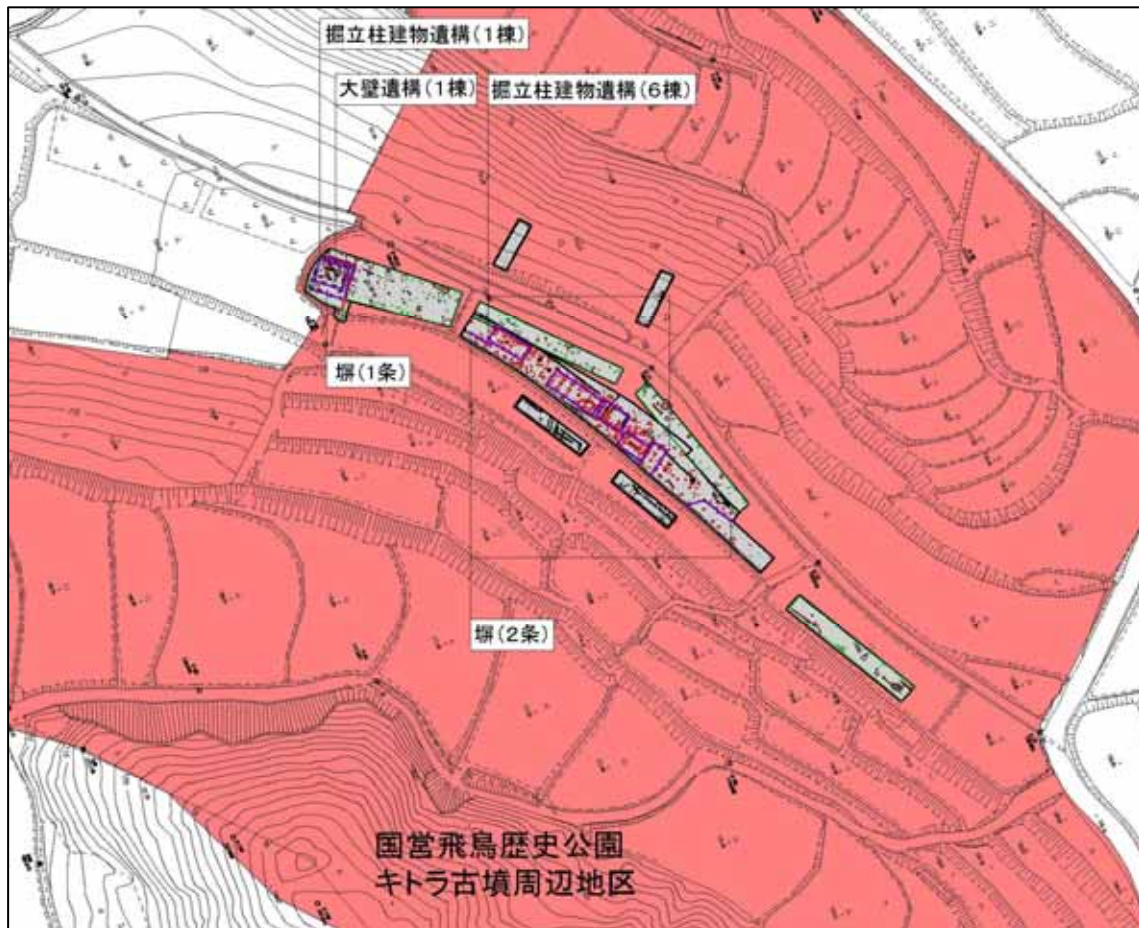
国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備に伴う文化財調査については、（独）奈良文化財研究所都城発掘調査部、奈良県立橿原考古学研究所、明日香村教育委員会文化財課の3機関により平成19年度より発掘調査が進められており、檜隈寺跡史跡指定地周辺部において関連のある大型建物や渡来人の生活に関連の深い建物遺構や遺物が検出されている。



## 檜前遺跡群

### 学術調査の動向

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備に伴う明日香村教育委員会による発掘調査で、現況農地となっていた檜隈寺跡史跡指定地の南側の丘陵部においても、尾根線鞍部に沿って掘立柱建物や大壁遺構、塀などが検出され、檜前遺跡群として調査が進められており、檜隈寺周辺で検出されたL字型かまどの遺構と関連して渡来系集団とのかかわりを裏付ける遺跡として考えられている。



### 3) 世界文化遺産暫定リスト「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」について

【飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群】提案のコンセプト（出典：明日香村ホームページ）

「飛鳥・藤原」は、奈良盆地の東南に位置する丘陵に囲まれた飛鳥、その北側の香具山、耳成山、畝傍山に囲まれた藤原からなり、明日香村、桜井市、橿原市にわたっている。

592年に推古天皇が飛鳥に豊浦宮を開いてから、710年に藤原宮から平城宮に遷都するまでの間の、いわゆる飛鳥時代に多くの天皇が宮を置いた地域である。

「飛鳥・藤原」は、日本の古代政治の中核で、律令国家もこの地を基点に誕生し、その形成から確立までの過程を解明できる古代都市空間である。当時、ここには天皇の宮殿や皇子の宮、そして大陸からの知識・技術を取り入れて建設された諸寺院の伽藍が聳えていた。また、飛鳥時代後半には律令国家の体制の基礎固めとなる都城として中国の都に学んだ藤原京が建設され、本格的な古代国家が始動した。

このように「飛鳥・藤原」では東アジア・東南アジアの諸外国との交流の中で国家の体制を整えていったことが、建造物や古墳などの構築物にとどまらず、諸外国の人々を迎え入れた寺院、迎賓館や庭園から出土する遺物にも認められる。またこの地域には諸外国の技術を受容した先進的文物を制作した工房等が存在した。

この時代には律令国家の根幹をなす国家儀礼・官僚・身分・税などの制度の完成、そして日本の経済制度に大きくかかわる貨幣の鑄造がおこなわれる。また、律令国家体制の確立は、人々の死後世界にも影響し、身分秩序体系が墓（古墳）の立地、形状、規模、内部構造に導入されている。

飛鳥時代は、我が国初の歌謡を集めた万葉集、初めての歴史書・正史にあたる「古事記」・「日本書紀」の編纂がされた時期でもあり、飛鳥・白鳳文化として花開き、次の「古都奈良」を中心とした天平文化へと受け継がれ、昇華する。このように「飛鳥・藤原」の地は古代日本の首都であり、現在に至る我々の生活習慣の礎となっている。

都が「飛鳥・藤原」の地を去った後、多くの寺院が残されたが、平安時代の終わりにはこれらの寺院は衰退していくことになる。飛鳥・白鳳文化に育まれた宮殿や寺院、庭園、工房などは時を通して水田や里山として埋没し、現在、地下に良好な遺構として存在する。

万葉歌が読まれた飛鳥時代の風土や石造物は時間を超えて現在にも受け継がれ、目のあたりにすることができる。特に大和三山は、万葉集や古今和歌集に多数詠まれ、その眺望は日本を代表する歴史的景観を有している。

飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群 構成資産の紹介（出典：明日香村ホームページ）

名 称	所在地	保護の主体	保護の種別
石舞台古墳	明日香村	国	特別史跡
高松塚古墳	明日香村	国	特別史跡
キトラ古墳	明日香村	国	特別史跡
川原寺跡	明日香村	国	史跡
大官大寺跡	明日香村	国	史跡
牽牛子塚古墳	明日香村	国	史跡
中尾山古墳	明日香村	国	史跡
酒船石遺跡	明日香村	国	史跡
定林寺跡	明日香村	国	史跡
飛鳥寺跡	明日香村	国	史跡
橘寺旧境内地	明日香村	国	史跡
岩屋山古墳	明日香村	国	史跡
伝飛鳥板蓋宮跡	明日香村	国	史跡
飛鳥水落遺跡	明日香村	国	史跡
飛鳥稻淵宮殿跡	明日香村	国	史跡
マルコ山古墳	明日香村	国	史跡
飛鳥池工房遺跡	明日香村	国	史跡
檜隈寺跡	明日香村	国	史跡
飛鳥京跡苑池	明日香村	国	史跡・名勝
岡寺跡	明日香村	国	史跡
山田寺跡	桜井市	国	特別史跡
藤原宮跡	橿原市	国	特別史跡
本薬師寺跡	橿原市	国	特別史跡
植山古墳	橿原市	国	史跡
丸山古墳	橿原市	国	史跡
菖蒲池古墳	橿原市	国	史跡
藤原京朱雀大路跡	橿原市	国	史跡
大和三山	橿原市	国	名勝



## 登録までのプロセス（出典：明日香村ホームページ）

世界遺産暫定一覧表への追加資産について、 資産の所在する都道府県及び市町村から提案を受付	平成18年11月30日 桜井市・橿原市及び奈良県と共同により「飛鳥・藤原 - 古代日本の宮都と遺跡群」を世界遺産暫定一覧表への追加記載候補として提案。
世界文化遺産特別委員会で調査・審議のうえ選定	平成19年1月19日 「飛鳥・藤原の宮都と関連資産群」として世界遺産暫定一覧表への追加記載候補に選定される。
文化審議会文化財分科会です承	平成19年1月23日 世界文化遺産特別委員会で調査・審議結果が文化審議会文化財分科会です承される。
世界遺産条約関係省庁連絡会議で正式決定	平成19年1月29日 国として、ユネスコ（国連教育科学文化機関）に提出する世界遺産の登録候補を載せた暫定一覧表に追加記載することが正式決定。
「暫定リスト」を作成しユネスコ世界遺産委員会へ提出	平成19年2月1日 国より、ユネスコ（国連教育科学文化機関）に「暫定リスト」を提出。
ユネスコ世界遺産委員会において、 暫定一覧表追加を決定	
<b>推薦準備作業</b>	
<b>「顕著な普遍的価値」の証明</b> 1) 「世界遺産条約履行の為の作業指針」の登録基準への適合 2) 国内外の同種資産との比較研究を行い、本資産が持つ顕著な普遍的価値を確実に証明 3) 資産全体の完全性を満たすために、構成資産に過不足がないか否か再確認	
<b>国内における万全の保護措置</b> 1) 世界遺産構成資産の文化財保護法による指定 2) 資産の全体を対象とする包括的保存管理計画の策定 3) 包括的保存管理計画の下に、個別の文化財について保存管理計画を策定	
<b>「飛鳥・藤原の宮都と関連資産群」個別の改善・充実事項</b> 1) 遺跡と一体となった歴史的風土について、周辺環境としての位置付けだけでなく、文化的景観としての観点からの評価についての検討 2) 特別史跡藤原宮跡及び名勝大和三山の周辺地域の保全措置が万全でないため、条例等による適切な保全措置	
<b>推薦書の作成</b>	

### 推薦の決定

- 1)文化審議会文化財分科会(文化庁の推薦決定)
- 2)世界遺産条約関係省庁連絡協議会議(政府の推薦決定)

推薦書(暫定版)をユネスコ世界遺産委員会へ  
提出

推薦書をユネスコ世界遺産委員会へ提出

国際記念物遺跡会議(ICOMOS)で審査  
(現地調査を含む)

世界遺産委員会で審査・登録の可否を決定

### 登録推薦に向けた課題

(出典：文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会資料 文化庁ホームページ)

世界遺産一覧表への登録推薦に向け、以下の各事項を確実に充足することが必要である。

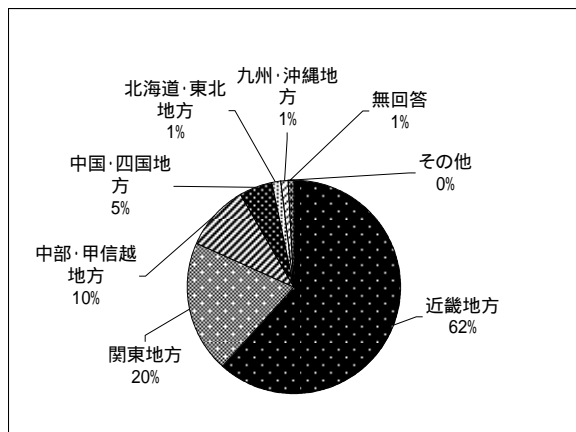
1. 考古学的遺跡と一体を成し、独特の地勢を含む「歴史的風土」については、遺跡の周辺環境として位置付けるのみならず、集落・農地・森林など良好な文化的景観の観点からの評価についても検討することが必要である。
2. 特別史跡藤原宮跡及び名勝大和三山の周辺地域の保全措置が万全でないため、条例等の下に行為規制を行うなど適切な保全措置を講ずることが必要である。

4) 奈良文化財研究所飛鳥資料館「キトラ古墳壁画四神 特別公開」の来訪動向

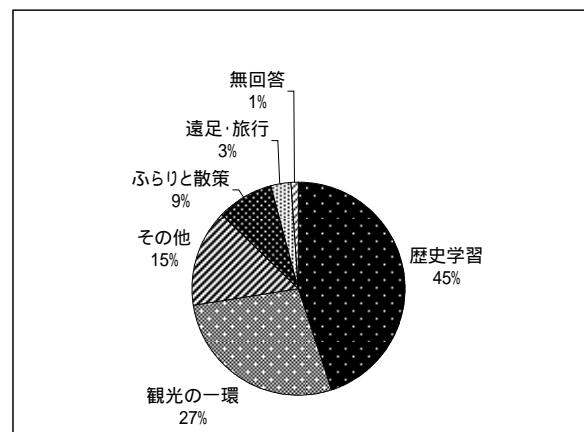
平成22年度 奈良文化財研究所飛鳥資料館「キトラ古墳壁画四神 特別公開」の入場者数は、30日間で89,272名であり、過去3回の公開と比べ最高の入場者数を記録した。

全国から来訪しており、その目的として「歴史学習」が多くなっている。特別展示の満足度は「とてもよい」が5割を超え、「かなりよい」とあわせて9割弱を示している。

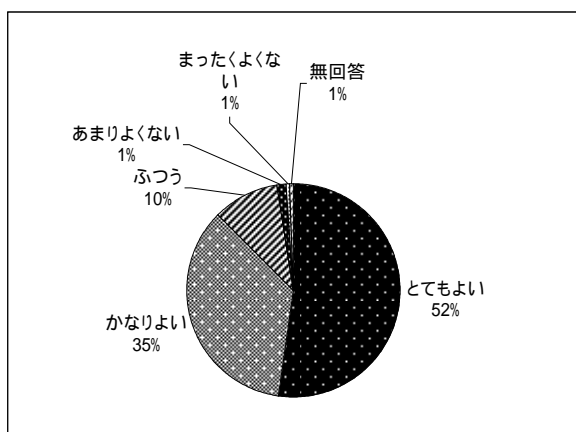
居住地



来館目的



特別展満足度





## 5) 村内の活動団体

### 現在の各団体の活動内容

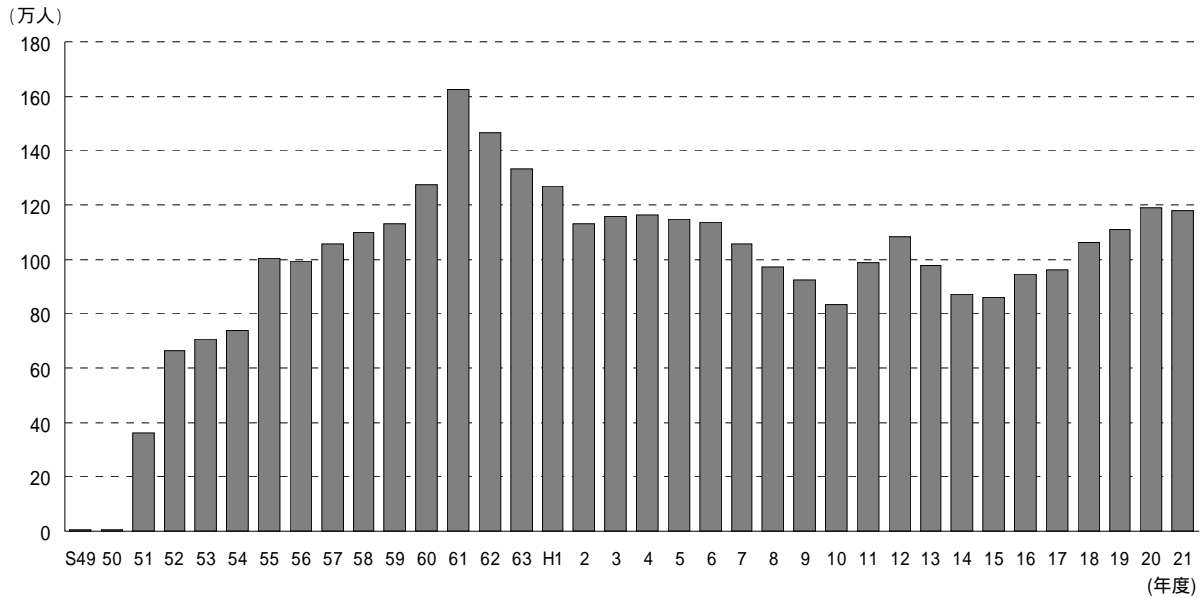
景観ボランティア明日香	飛鳥の歴史的景観をとりもどすことを目標に、村内各集落で木・荒廃竹林の伐採、草刈り、植栽、遊歩道の整備、案内板・道標づくり、飛鳥川の清掃・整備、橋の修復、鳥居の修復などを実施。
森の手づくり塾	飛鳥川の源流域を拠点に、地域住民と都市住民が交流しながら、わらじ・ぞうりづくり、草木染め体験、竹・木工細工、炭焼き体験、柿渋づくり、こんにゃくづくり等を実施。活動期間は10年を越える。
明日香村森林組合	明日香村内の森林の維持管理を行っている。明日香まるごと体験プログラムとして、林業体験、木工体験を実施。
飛鳥風の竹工房	村内の竹を使って竹炭づくりや竹細工を製作。平成15年に「飛鳥風の工房。楽竹窯」をオープン、現在は約10名のメンバーで活動。
有限会社ゆめ明日香	村内の農産物を加工した菓子・惣菜・味噌・漬物の製造。平成18年2月に法人化し、農産加工所を新設・運営。女性4名で活動。
明日香のまんま	大豆をテーマにした加工食品の製造。平成16年3月発足。
みのり会	学校給食への食材提供や、旬野菜・加工品の宅配(「采女の宅配便」)などを中心に活動。昭和59年7月発足、女性9名で活動。
すみれ会	自宅で栽培している里芋、ショウガ、餅米など用いておかきを製造。平成16年3月発足。現在は女性1名で活動。
飛鳥京観光協会 観光ボランティアガイド	平成9年に飛鳥京観光協会の事業として発足。現在、約40人のボランティアガイドが、明日香村内を観光客と一緒にめぐりながら、行く先々でガイドを実施。常に最新の情報を来訪者に届けるために、毎月定例会を設け、学習会を行っている。
あすか劇団「時空」	平成10年に飛鳥京観光協会の支援を受けて結成。約20名の劇団員により飛鳥時代の歴史劇を上演。毎年九月には定例公演を実施するほか、出張公演、学校団向けの体験学習(30分のお芝居+クイズ等で計1時間のステージ)、明日香まるごと体験プログラムとしてミニ公演なども実施。
古代ガラス製作 インストラクター	古代の工房跡・飛鳥池遺跡の発掘成果をもとに、平成15年より古代の手法によるガラス製作の体験活動を行っている。現在は万葉文化館隣の「眞神荘」にて月約2回実施。約30名がインストラクター養成講座を修了し、ボランティアとして参加者の指導を行っている。明日香まるごと体験プログラムとしても実施。
明日香村伝承芸能保存会	平成十四年に設立。古代より明日香村に伝わる四つの伝承芸能である「南無天踊り」、「八雲琴」、「飛鳥蹴鞠」、「万葉朗唱」を保存し、次世代に継承する活動を展開。明日香村民俗資料館「眞神荘」にて春・秋の三ヶ月間、昼の時間に公演を行っている。また、出張公演や体験学習、明日香まるごと体験プログラムなども行っている。
飛鳥里山クラブ	国営飛鳥歴史公園を拠点に、自然観察、クラフト、ハイキング、里山保全などを通して飛鳥の自然や歴史について学び、里山の魅力を楽しむクラブとして、平成7年にスタート。一年間の講座修了後は、学んだ成果を公園のイベント等において、より多くの人々に伝え広める活動を行う。

## (2) 国営飛鳥歴史公園への来園者

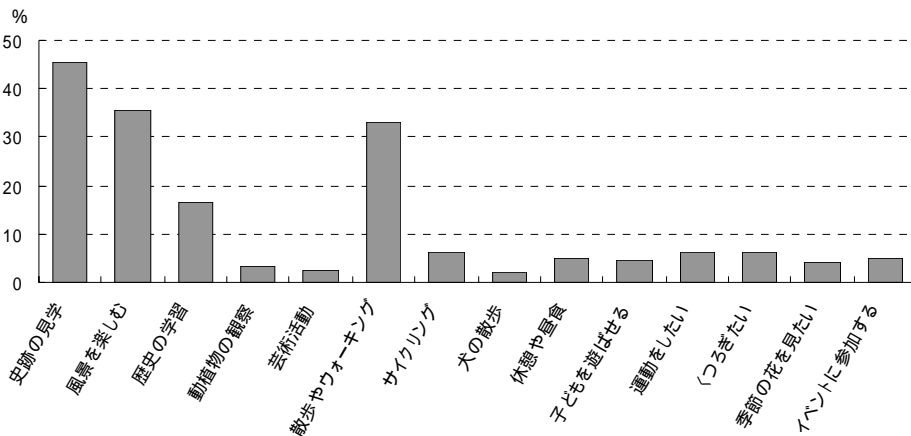
平成 21 年度の国営飛鳥歴史公園の来園者は 118 万人となっている。

来園の目的は、「史跡の見学」、「風景を楽しむ」、「散歩やウォーキング」、「歴史の学習」の順に多くなっているととも、その他の多様なレクリエーションも目的とされている。

年度別来園者数



来園目的



平成 21 年度利用実態調査

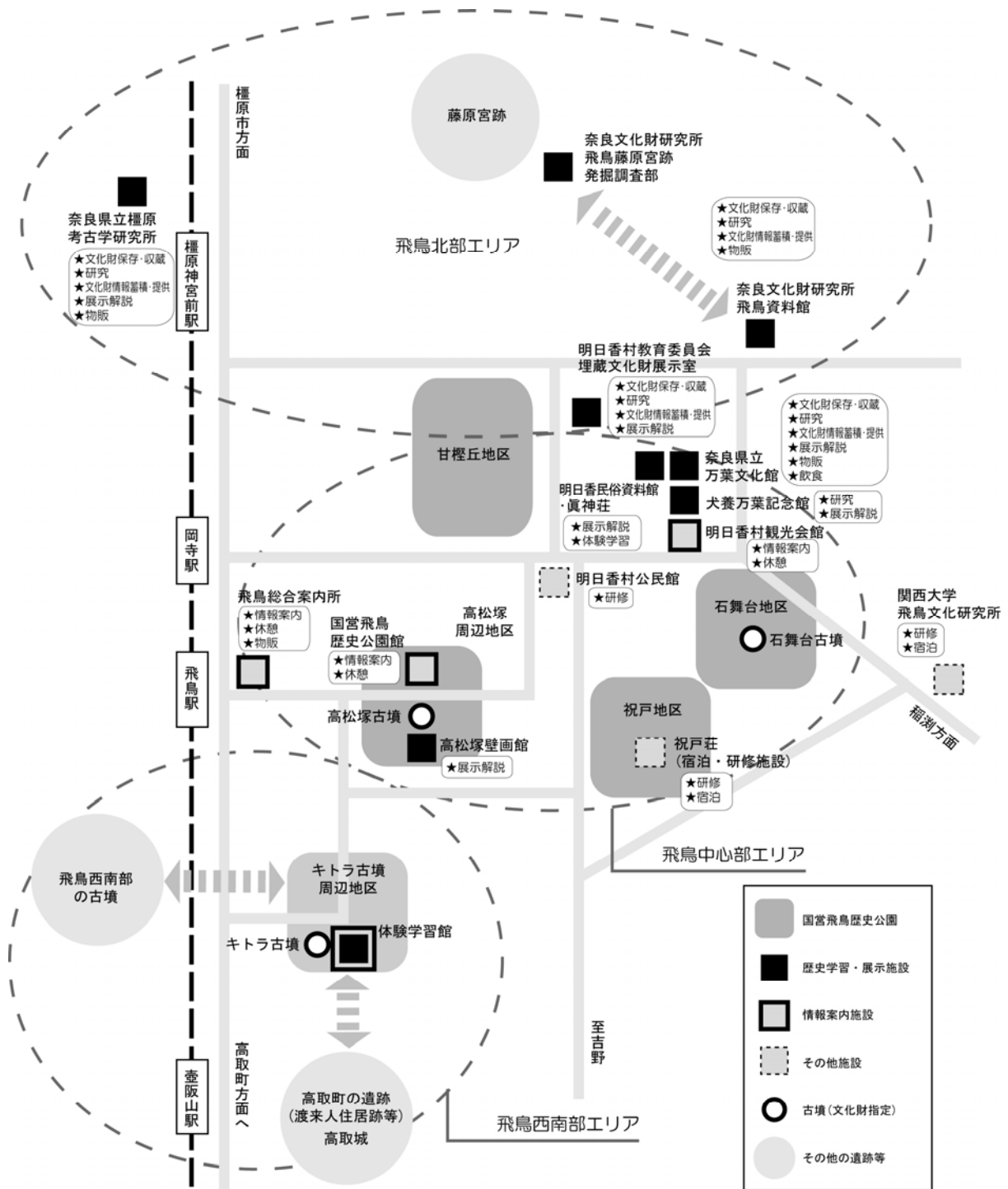
### (3) 飛鳥地方の既存施設の現況

飛鳥地方における博物館・資料館等既存施設の学習内容・展示手法は以下のとおりである。

#### 飛鳥地方の既存施設の概要

名称	施設概要
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥藤原宮跡発掘調査部展示室	飛鳥時代を中心に明日香・橿原地域の出土品などの諸資料を展示。
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥資料館	飛鳥時代を中心に明日香・橿原地域の出土品などの諸資料を展示。
奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館	橿原遺跡の出土品をはじめとした奈良県下の考古学資料を展示。
奈良県立万葉文化館	万葉ミュージアムや万葉庭園など、万葉文化に親しみ理解するための資料を施設。
明日香村埋蔵文化財展示室	明日香村内の出土遺物等を展示。
明日香民俗資料館・眞神荘	明日香村の歴史や年中行事を紹介し、生活様式・民具・伝承などに関する資料を展示。
南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館	万葉研究の第一任者・犬養孝氏の業績を顕彰し、犬養氏や万葉歌に関する資料を展示。
高松塚壁画館	高松塚古墳より発見された彩色壁画の模写、模造、石槨レプリカなどを展示。
国営飛鳥歴史公園館	国営飛鳥歴史公園の玄関口として、飛鳥を訪れた人々に史跡や施設に関する情報を提供。

既存施設の分布



飛鳥地方の既存施設における学習内容

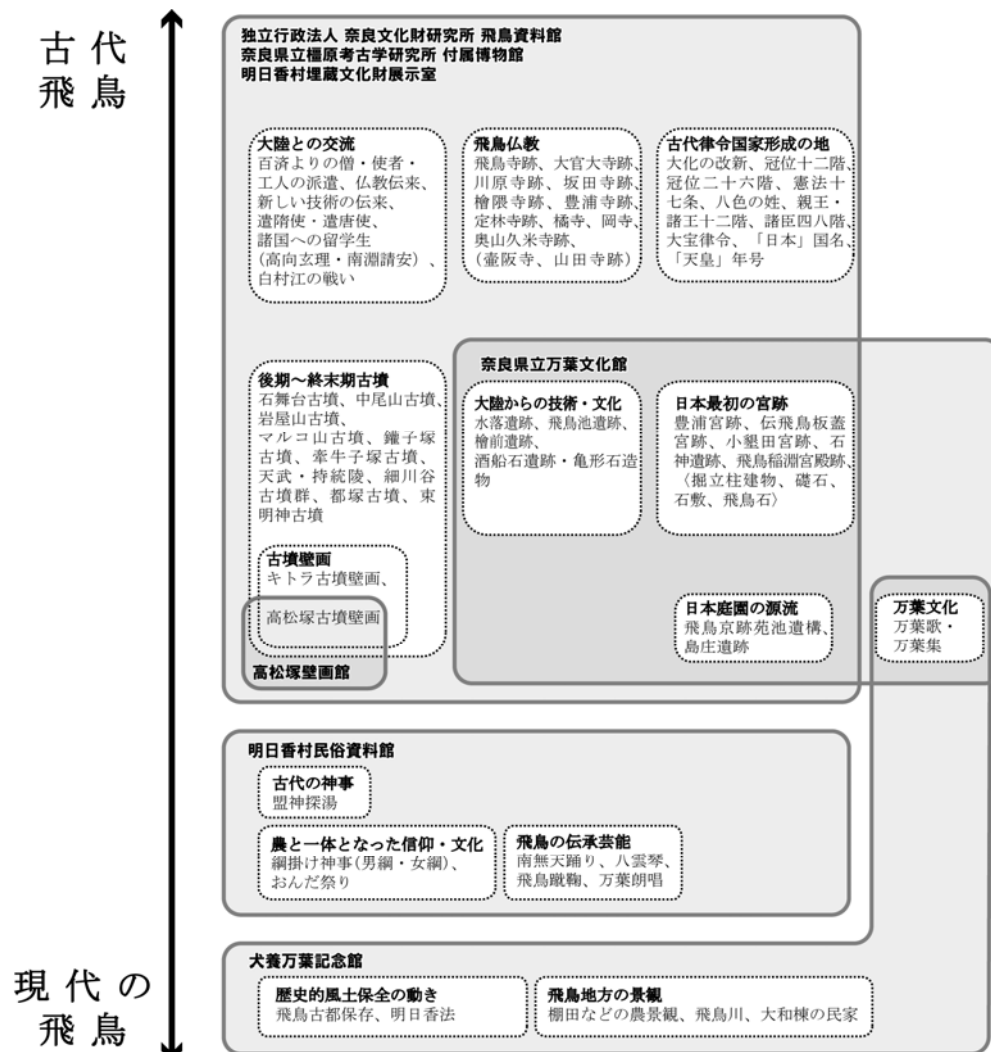
<p>独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥藤原宮跡発掘調査部展示室</p>	<p>タイムトンネル 現代から藤原京の時代へ 高耀る藤原京 今・昔・発掘 展示室（順路あり） 新しい都 藤原京をつくるー 完成した都 飛鳥の四季 貴族 の屋敷 藤原京再現 大垣を解体し、柱を抜きとる 都のくらし 埋もれた藤原の都 研究と保存のあゆみ 基準展示室（順路あり） 瓦の種類と使用位置 飛鳥諸寺の瓦 藤原宮の瓦 飛鳥・藤原宮 の土器（土器のうつりかわり）</p>
<p>独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥資料館</p>	<p>第一展示室（順路あり） ようこそ古代飛鳥へ 飛鳥の宮 飛鳥の石 飛鳥の古墳 高松 塚古墳 飛鳥の寺 第二展示室（「山田寺」東回廊の再現） 山田寺の歴史 東回廊の発掘 山田寺の建築 発掘された山田 寺の伽藍 出土財の保存 特別展示室 亀型石造物、キトラ古墳壁画 特別公開</p>
<p>奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館</p>	<p>第一展示室（順路あり） A 旧石器時代 A-1 狩人の時代 B 縄文時代 B-1 定住へのあゆみ B-2 豊かな狩猟民の文化 C 弥生時代 C-1 稲作伝来 C-2 田と森の融合 C-3 神の宿る器 C-4 ク ニへのあゆみ 第二展示室 D 古墳時代 D-1 ヤマト王権の成立 D-2 倭の五王の時代 D-3 古墳のま つり D-4 ヤマト王権の展開 D-5 藤ノ木古墳の時代 D-6 さまざまな器 第三展示室 E 飛鳥時代 E-1 古代の宮都 E-1-1 飛鳥の宮 E-1-2 藤原京と平城京 E-2 仏教文化と寺院の建立 E-2-1 仏教伝来 E-2-2 広まる寺づくり E-2-3 東大寺を つくる E-3 古墳から火葬墓へ E-3-1 飛鳥時代の古墳 E-3-2 火葬のはじまり F 平安～室町時代 F-2 中世びとの暮らし</p>
<p>奈良県立万葉文化館</p>	<p>一般展示室 歌とは何だろう 歌の広場（順路なし） 里山での歌、都市での歌 / 屋内での歌 / 古代音楽を今に甦らせ る / 日本とアジアの歌 / 古代の文房具 / さまざまな万葉集 / 石にきざまれた万葉時代の歌 / 万葉びとの系譜 / 左注題詞か ら歌物語へ 万葉おもしろ体験（順路なし） 万葉びとの遊び / 万葉ファッション体験 / さやけしルーム 万葉劇場 特別展示室 飛鳥池遺跡とは</p>

明日香村埋蔵文化財展示室	(順路・展示タイトルなし) 調査速報(真弓籬子塚古墳) / 八鈞・東山古墳 / 馬頭2号墳 / 飛鳥寺跡 / 川原寺 / 坂田寺西橋 / 雷内畑遺跡 / 雷東方遺跡の井戸枠 / 龍福寺層塔 / 高取城猿石 / 飛鳥東垣内 / 酒船石遺跡 / キトラ古墳 / 高松塚古墳 / マルコ山古墳 / 牽牛子塚古墳
明日香民俗資料館・眞神荘	民俗資料館(順路なし) 信仰 / 食 / 住 / 農耕 眞神荘(順路なし) 亀型石造物(CG映像) / 飛鳥民家
南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館	(順路・展示タイトルなし) 犬養孝年譜 / 犬養先生揮毫の万葉歌 / 「万葉の旅」ノート / 犬養孝と明日香村(映像資料) / 遺品
高松塚壁画館	(順路・展示タイトルなし) 現状模写 / 副葬品模造 / 石室レプリカ / 一部復元模写 / 壁画再現模造模写 / 墳丘版築層標本 / 東アジアの古墳壁画
国営飛鳥歴史公園館	(順路なし) 国営飛鳥歴史公園の4地区と周辺の史跡、石造物(写真パネル) / 公園の各地区や史跡の位置(ジオラマ) / 飛鳥百景 / 飛鳥歴史アニメ / 飛鳥発掘関係情報

\* 展示タイトルを記載。タイトルの無いものは、展示資料の名称等を記載。

\*   : キトラ古墳に関する展示

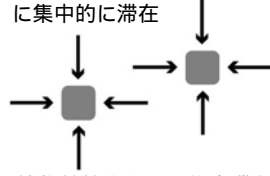
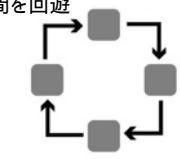
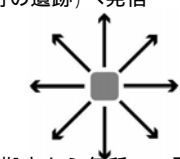
### 飛鳥地方の既存施設における学習内容の区分



飛鳥地方の既存施設における展示手法

	見る						触る	遊ぶ	調べる		イメージする
	パネル展示	実物展示	レプリカ展示	立体模型展示	映像資料展示	映画・歌劇等上演	ハズオン展示	ゲーム型展示	図書閲覧	情報検索端末	導入部の演出(イメージ展示)
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥藤原宮跡発掘調査部展示室											
独立行政法人奈良文化財研究所 飛鳥資料館											
奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館											
奈良県立万葉文化館											
明日香村埋蔵文化財展示室											
明日香民俗資料館・眞神荘											
南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館											
高松塚壁画館											
国営飛鳥歴史公園館											

(4) キトラ古墳周辺地区で行う体験的歴史学習に求められる役割

	現在			将来(キトラ古墳周辺地区整備後)		
	既存施設	遺跡・文化財	交通・周遊	飛鳥地方の中での位置づけ	観光動線タイプ	重視すべき機能
飛鳥北部	<p>文化財調査・研究機関の展示施設が点在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橿原考古学研究所</li> <li>・奈良文化財研究所</li> <li>・明日香村埋蔵文化財展示室等</li> </ul>	<p>藤原宮跡と飛鳥京北端部の遺跡</p> <p>(橿原市内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤原宮跡</li> </ul> <p>(明日香村内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大官大寺跡</li> <li>・石神・水落遺跡</li> <li>・甘樫丘 等</li> </ul>	<p>公共交通機関によるアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛鳥～橿原神宮前を周遊バスが巡回</li> <li>・橿原神宮前駅にレンタサイクル拠点あり</li> <li>・橿原～飛鳥間の周遊歩道は未計画・未整備</li> <li>・博物館等施設来訪者の立ち寄り中心</li> </ul>	<p>飛鳥・藤原地域の歴史学習拠点エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財調査・研究機関による情報提供・歴史学習</li> <li>・藤原宮とのネットワーク</li> </ul> <p>飛鳥藤原地域の歴史学習拠点を位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット</li> <li>考古学に興味のある人、中高年</li> </ul>	<p>滞在型</p> <p>博物館施設等の大型施設に集中的に滞在</p>  <p>博物館等施設への集中滞在</p>	<p>研究機能</p> <p>文化財保存・収蔵機能</p> <p>文化財情報蓄積・提供機能</p> <p>展示・解説機能</p>
飛鳥中心部	<p>歴史観光施設が多く点在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県立万葉文化館</li> <li>・明日香民俗資料館・真神荘</li> <li>・犬養万葉記念館</li> <li>・明日香村観光会館</li> <li>・明日香村公民館</li> <li>・飛鳥総合案内所</li> <li>・高松塚壁画館</li> <li>・国営飛鳥歴史公園 等</li> </ul>	<p>飛鳥京核心部を構成する遺跡</p> <p>(明日香村内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛鳥池工房遺跡</li> <li>・飛鳥京苑地</li> <li>・川原寺跡</li> <li>・伝飛鳥板蓋宮跡</li> <li>・酒船石遺跡</li> <li>・岡寺跡</li> <li>・定林寺跡</li> <li>・石舞台古墳</li> <li>・鳥床遺跡</li> <li>・高松塚古墳 等</li> </ul>	<p>公共交通機関 + 周遊歩道 + レンタサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛鳥中心部は周遊バスが巡回</li> <li>・レンタサイクル拠点が点在</li> <li>・周遊歩道は整備済</li> <li>・飛鳥地方内で来訪者が最も多い地域</li> </ul>	<p>飛鳥中心部の賑わいエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食や物販等も含め飛鳥の歴史・文化が楽しめるエリア</li> <li>・まちづくり活動との連携</li> </ul> <p>地域主体のコンパクトな観光空間に位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット</li> <li>女性客、若年層、カップル等</li> </ul>	<p>回遊型</p> <p>展示施設や情報提供・休憩・飲食・物販等のサービス施設間を回遊</p>  <p>施設間の回遊</p>	<p>情報提供機能</p> <p>休憩機能</p> <p>高度なサービス機能</p>
飛鳥西南部	<p>拠点施設なし</p>	<p>終末期古墳と渡来人集落跡</p> <p>(明日香村内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キトラ古墳</li> <li>・牽牛子塚古墳</li> <li>・マルコ山古墳</li> <li>・岩屋山古墳</li> <li>・檜隈寺跡</li> </ul> <p>(高取町内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清水谷遺跡</li> <li>・ホラント遺跡</li> <li>・森カシ谷遺跡</li> <li>・観音寺遺跡 等</li> </ul>	<p>周遊歩道、レンタサイクル未整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明日香村内は循環バスが走行</li> <li>・レンタサイクル拠点なし</li> <li>・周遊歩道は未整備の箇所あり</li> <li>・来訪者が少ない地域であるが、近年は高取町への来訪者が増加傾向</li> </ul>	<p>飛鳥西南部の史跡周遊・体験エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キトラ古墳周辺地区を拠点とした体験学習エリア</li> <li>・高取町とのネットワーク</li> </ul> <p>飛鳥西南部～高取町の周遊拠点を位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット</li> <li>ファミリー層、アクティビティ嗜好が高い層</li> </ul>	<p>発信型</p> <p>拠点施設(体験学習館)から各所(園内および西南部・高取町の遺跡)へ発信</p>  <p>拠点から各所への発信</p>	<p>体験学習機能</p> <p>史跡案内機能</p> <p>情報案内機能</p> <p>休憩機能</p>

キトラ古墳周辺地区 = 飛鳥西南部の拠点と設定

体験学習館を核として、地区内や飛鳥西南部の史跡を周遊しながら、終末期古墳や渡来人の歴史・文化に関する体験的歴史学習を展開する。

主要な機能：

- 体験学習機能・・・屋外空間との一体的活用
- 史跡案内機能・・・飛鳥西南部への案内
- 展示・解説機能・・・キトラ古墳・檜隈寺跡に関する展示・解説



(5) 体験的歴史学習プログラム(案)

1) 体験的歴史学習プログラムの構成

体験的歴史学習プログラムの構成として、学習分野ごとのテーマ、項目、手法について以下に整理する。

手法は、**展示・解説**、**史跡案内**、**体験学習**により展開するものとし、以下を想定した。

- ・**展示・解説**
  - ・**展示・解説** : 指定文化財の展示・解説等
  - ・**展示・解説** : 指定文化財以外やその他資料の展示・解説等や、または最新研究成果の展示・解説等
- ・**史跡案内** : 地区内外の史跡への案内・探訪ツアー等
- ・**体験学習** : ものづくりや農業体験等の体験学習

ただし、**展示・解説**と**展示・解説**の区分は、現時点での指定状況にもとづく想定であり、今後、新たに指定文化財が指定される際には、適宜、**展示・解説**として、展示するものとする。

**体験的歴史学習分野 : キトラ古墳とその保存・修復**

**キトラ古墳壁画のなりたち**

- 大陸文化の伝承(古墳をめぐる背景と系譜) **展示・解説**  
(古墳に対する思想の変遷、朝鮮説・中国説、高句麗壁画古墳群、大陸との交流など)
- キトラ古墳の築造 **展示・解説** **史跡案内** **体験学習**  
(年代(7世紀末)、築造技術・過程、石室構造、風水思想、葬送儀式など)
- キトラ古墳壁画 天文図の特徴 **展示・解説** **体験学習**  
(最古の精密な天文図、手本とされた高句麗石刻天文図、高松塚古墳壁画との違いなど)
- キトラ古墳壁画 四神・十二支像の特徴 **展示・解説** **体験学習**  
(高松塚古墳壁画との違い(北向きの白虎・人物像)など)
- キトラ古墳の被葬者 **展示・解説** **体験学習**  
(ゆげのおうじ弓削皇子説、あへのおそんみうし阿部朝臣御主人説、百済王家説など)

**古墳壁画の保存・修復技術**

- 発掘調査 **展示・解説** **体験学習**  
(発掘の経緯、発掘調査など)
- 研究・分析 **展示・解説**  
(研究経緯、分析方法、東アジアの古墳関連最新研究など)
- 保存・修復 **展示・解説** **体験学習**  
(壁画保存・修復技術、保存環境など)

\* 展示 : 指定文化財の展示  
\* 展示 : 指定文化財以外の展示

## 体験的歴史学習分野：渡来人がもたらした技術・文化

### 渡来人の足跡

- 渡来時期と起源 展示・解説  
 (雄略二年～ 朝鮮半島(百済・加耶・新羅など))
- 民族 展示・解説  
 (東漢氏(倭隈氏、身狭氏など)、西漢氏、秦氏など 職人・工人・技術者)
- 渡来ルート 展示・解説 史跡案内  
 (紀路)
- 居住地 展示・解説 史跡案内  
 (明日香村倭隈～高取町観音寺周辺(倭隈氏) 橿原市南部(身狭氏))
- 生活様式 展示・解説 体験学習  
 (集団居住、大壁造・オンドル式の住居)
- 都での役割 展示・解説  
 (大伴氏・蘇我氏・朝廷との交流・技術提供、国家形成に貢献)

### 渡来人のもたらした技術・文化

- 漢字文化 展示・解説
- (木簡)
- 飛鳥仏教 展示・解説 史跡案内 体験学習  
 (寺院建築、仏像)
- 道教的思想・文化 展示・解説 史跡案内 体験学習  
 (庭園、曲水の宴、亀形石造物、天宮、雨乞い、大袂、呪具など)
- 檜隈寺 展示・解説 史跡案内 体験学習  
 (檜隈寺跡の歴史、寺院建築、出土品、瓦、発掘の経緯・エピソードなど)
- 池溝開発 展示・解説 史跡案内 体験学習  
 (新しい開発、新農法など)
- 建築・土木 展示・解説 体験学習  
 (建築技術、土木技術、瓦の製造、石材加工)
- 経済・法律・暦 展示・解説 体験学習  
 (貨幣、暦、漏刻)
- 工芸 展示・解説 体験学習  
 (金属加工(金・銀・銅・鉄)、玉類(ガラス・水晶・琥珀)の生産、漆芸、鼈甲細工など)
- 食品・薬 体験学習  
 (食材生産技術、調理・保存技術、食器(金属器・漆器・木器・土器)、薬草・製薬技術)
- 食事法・食事 体験学習  
 (牛乳、乳製品、粉食、油の使用、箸の使用など)
- 馬文化 体験学習  
 (馬の飼育、乗馬技術など)
- 国づくりへの寄与 展示・解説  
 (近つ飛鳥、藤原京、大津京、平城京など)

- \* 展示：指定文化財の展示  
 \* 展示：指定文化財以外の展示

## 体験的歴史学習分野：飛鳥の歴史的風土の保全

### 飛鳥の魅力とは（飛鳥の歴史的風土とは）

飛鳥の風土の魅力

展示・解説

史跡・周辺案内

（飛鳥の文化的景観（古代の歴史的資産、美しい田園景観、そこに暮らす人々の生活））

飛鳥保存をふりかえる

展示・解説

（高松塚古墳壁画発見に端を発する飛鳥ブーム、飛鳥古京を守る会の活動、御井さんの直訴状、明日香法制定、国営飛鳥歴史公園開園）

### 飛鳥の歴史的風土を守るために

飛鳥の歴史的風土を守るために

展示・解説

体験学習

（国・村の施策、国営飛鳥歴史公園の事業、景観ボランティア・棚田オーナー・伝承芸能保存等の村内外の活動）

飛鳥の農林業を守る

体験学習

（農林業体験）

飛鳥の風景・景観を守る

体験学習

（風景づくり体験・里山管理体験）

飛鳥の伝統文化を守る

体験学習

（飛鳥の行事体験、郷土食体験、昔ばなし）

\* 展示：指定文化財の展示

\* 展示：指定文化財以外の展示

2) 体験的歴史学習プログラムの展開

分野	内容	項目	主な手法	場所・施設
キトラ古墳とその保存・修復	【キトラ古墳壁画のなりたち】	大陸文化の伝承 キトラ古墳の築造	【展示・解説】 ・キトラ古墳壁画の展示 ・その他の古墳壁画に関する展示	・体験学習館(展示室)
		キトラ古墳壁画 天文図の特徴 キトラ古墳壁画 四神・十二支像 の特徴 キトラ古墳の被葬者	【展示・解説】 ・古墳壁画に関するインタラクティブな展示 ・東アジアの古墳・壁画とその系譜に関する展示 ・キトラ古墳の築造等に関する模型、写真、パネル等の展示	・体験学習館(展示室)
			【体験学習】 ・古墳築造体験(ミニチュア模型等の製作) ・古墳壁画製作体験 ・埋葬・葬送体験 ・天文図と星空観察体験	・体験学習館(体験学習室) ・体験学習広場
			【史跡案内】 ・キトラ古墳・檜隈寺跡を見学するガイドツアー ・バーチャル古墳探訪体験(MR技術の活用) ・飛鳥西南部の終末期古墳を巡るガイドツアー	・古墳鑑賞広場 ・檜隈寺跡 ・明日香西南部の終末期古墳(高松塚古墳、中尾山古墳、マルコ山古墳、籾子塚古墳、牽牛子塚古墳、岩屋山古墳、束明神古墳など)
【古墳壁画の保存・修復技術】	発掘調査 研究・分析 保存・修復	【展示・解説】 ・キトラ古墳の発掘調査の記録を紹介した映像資料、写真、パネル展示 ・キトラ古墳、東アジアの古墳関連研究資料の展示 ・壁画の保存・修復技術を紹介した映像資料、写真、パネル展示	・体験学習館(展示室)	
		【体験学習】 ・発掘調査体験 ・壁画修復体験 ・保存管理環境の体験	・体験学習館(体験学習室)	
渡来人がもたらした技術・文化	【渡来人の足跡】	渡来時期と起源 民族 渡来ルート 居住地 生活様式 都での役割	【展示・解説】 ・渡来人がやってきたルートなどを紹介したインタラクティブな展示 ・渡航や来日後の暮らしを紹介した映像資料の展示 ・渡来人住居跡等の遺跡の分布図など	・体験学習館(展示室)
			【体験学習】 ・渡来人の暮らしを紹介する演劇の上演 ・パフォーマーによる演出・寸劇 など	・体験学習館(体験学習室) ・体験学習広場 ・体験工房 ほか園内各所
			【体験学習】 ・渡来人の暮らし体験(住居、食事、衣装、音楽など) ・古代の森づくり体験	・体験学習館(展示室、体験学習室) ・体験工房
			【史跡案内】 ・渡来人に関連する遺跡(高取町を含む)を巡るガイドツアー ・周遊マップの配布やスタンプラリー等の実施	・明日香村・高取町の遺跡(飛鳥池遺跡、水落遺跡、檜隈寺跡、ホラント遺跡、観音寺跡)

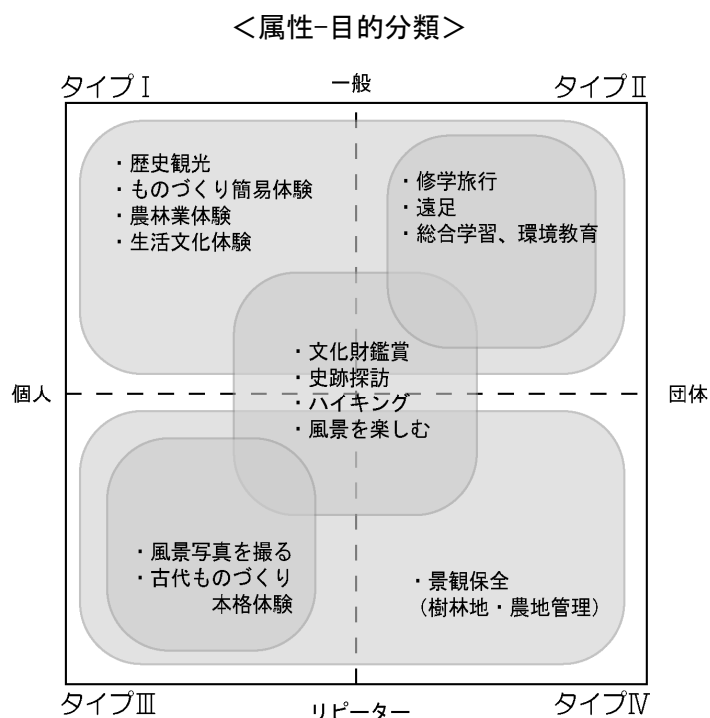
分野	内容	項目	主な手法	場所・施設
渡来人がもたらした技術・文化	【渡来人もたらした技術・文化】	漢字文化 飛鳥仏教 道教的思想・文化	【展示・解説】 ・檜隈寺跡の出土資料の展示 ・檜前遺跡群の出土資料の展示	・体験学習館(展示室)
		檜隈寺 池溝開発 建築・土木 経済・法律・暦 工芸 食品・薬 食事法・食事 馬文化 国づくりへの寄与	【展示・解説】 ・檜隈寺跡の発掘調査の記録、写真等やインタラクティブな展示 ・渡来人もたらした建築・土木技術や経済・法律等を解説したパネル等の展示 ・手に取れる出土品のレプリカ等 ・地域の語り部による檜隈寺にまつわる昔ばなし ・近つ飛鳥、藤原京、大津京、平城京等への文化の変容に関するパネル展示	・体験学習館(展示室) ・体験工房
			【体験学習】 ・発掘調査体験 ・木簡づくり体験 ・農法体験 ・瓦づくり体験 ・古代のカレンダーづくり(暦、漏刻) ・貨幣づくり体験 ・ガラス玉づくり体験 ・金属加工体験 ・料理体験、食事体験 ・武具装着体験 ・騎馬体験	・体験工房
			【史跡案内】 ・キトラ古墳・檜隈寺跡を見学するガイドツアー ・飛鳥西南部の終末期古墳を巡るガイドツアー	・古墳鑑賞広場 ・檜隈寺跡 ・明日香西南部の終末期古墳(高松塚古墳、中尾山古墳、マルコ山古墳、籾子塚古墳、牽牛子塚古墳、岩屋山古墳、束明神古墳など)
飛鳥の歴史的風土保全	【飛鳥の魅力とは】	飛鳥の風土の魅力 飛鳥保存をふりかえる	【展示・解説】 ・飛鳥の美しい風景の写真、映像資料等によるインタラクティブな展示 ・飛鳥保存運動の経緯について解説したパネル、映像資料、写真等の展示	・体験学習館(展示室)
			【史跡案内】 ・キトラ古墳周辺地区～周辺のガイドツアー(園内の棚田景観、大根田の集落景観)	・園内～阿部山・大根田・檜前地区
	【飛鳥の歴史的風土を守るために】	飛鳥の歴史的風土を守るために 飛鳥の農林業を守る 飛鳥の風景・景観を守る 飛鳥の伝統文化を守る	【展示・解説】 ・現在の飛鳥の各種活動を紹介したマップ・パネル・情報検索機器、写真、映像資料の展示  【体験学習】 ・農業体験(水田、畑) ・里山管理体験 ・伝統行事体験(お正月、ひな祭り、丹後の節句、七夕など) ・明日香の郷土食体験 ・昔ばなし体験	・体験学習館(展示室)  ・里地里山フィールド ・維持管理施設

「展示室」は「展示・解説」手法に基づく指定文化財の展示

「展示室、」は「展示・解説」手法に基づく指定文化財以外の展示

### 3) 体験的歴史学習プログラムのターゲット別の展開

来訪者の属性-目的分類をもとに、代表的な①～⑧の8つの体験学習プログラム案を例示する。なお、プログラムは、数回訪れるにつれて公園管理の一部について担い手ともなれるよう段階的に設定する。



※「個人」は家族、友人含む。「団体」は学校団体、趣味サークル等。

※専門家による研究、研修、発表会等は、別途対応するものとする。

#### ■体験学習プログラムの例

属性-目的 タイプ	プログラムの タイプ	完結型			継続型
		短時間	半日～1日	季節限定	
タイプⅠ (個人・一般)		①	② ③	④	
			⑤ ⑥		
					⑦ ⑧
タイプⅣ (団体・リピーター)					

①文化財・史跡鑑賞プログラムⅠ（短時間コース）

④農林業体験プログラム（一般来園者向け）

⑦ものづくりプログラムⅡ（リピーター向け）

②文化財・史跡鑑賞プログラムⅡ（半日～1日コース）

⑤史跡探訪プログラム

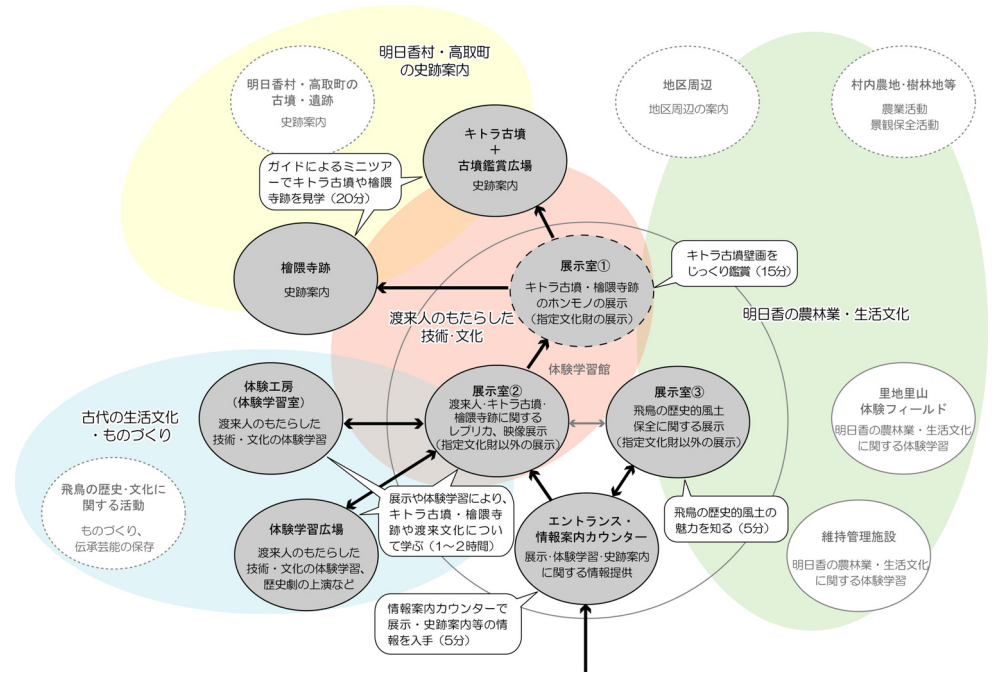
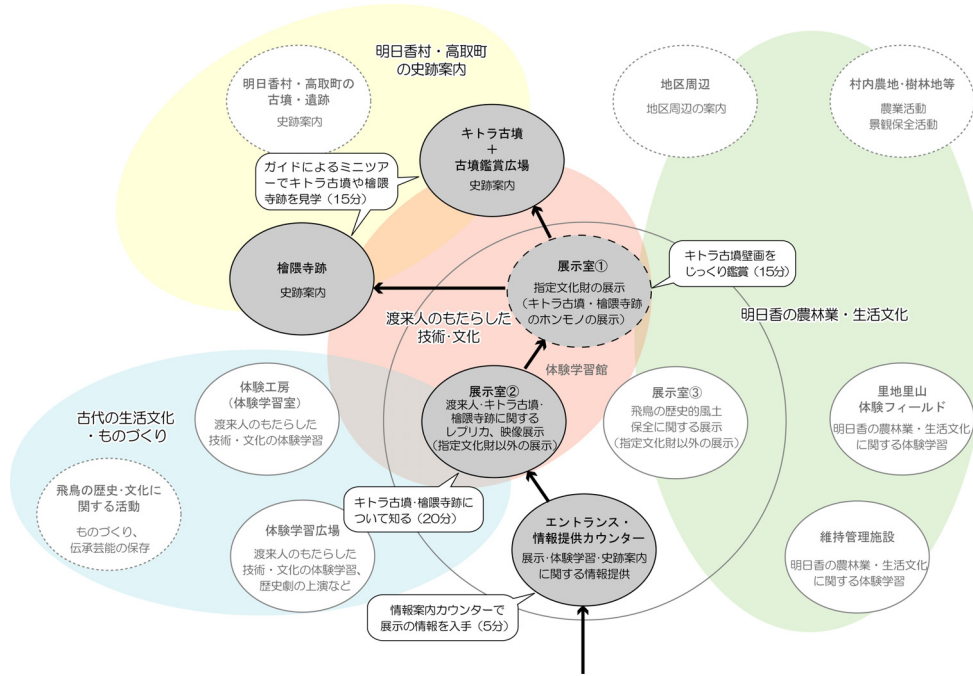
⑧農林業プログラムⅡ（リピーター向け）

③ものづくり体験プログラム（一般来園者向け）

⑥風景満喫プログラム

### ①史跡・文化財鑑賞プログラムⅠ（短時間コース）

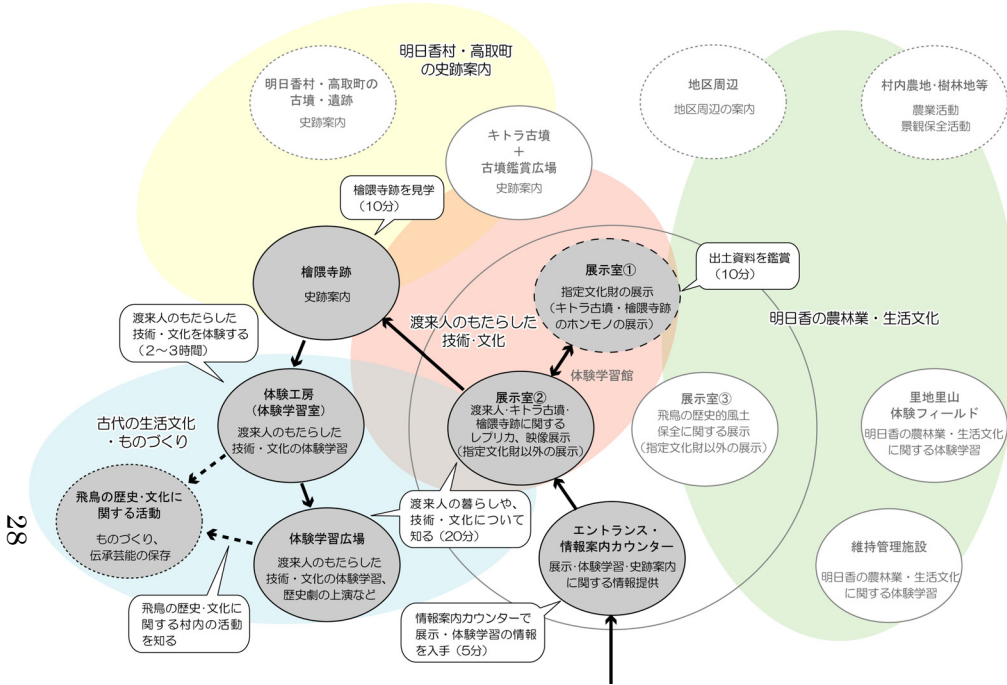
### ②史跡・文化財鑑賞プログラムⅡ（半日コース）



ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史観光・文化財鑑賞を目的とした個人客（短時間滞在）</li> <li>・歴史観光ツアーの団体客（バスツアー等）</li> </ul>
所要時間	1時間程度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キトラ古墳壁画、檜隈寺跡の出土資料と史跡見学を目的とした短時間プログラム。</li> <li>・出土資料の展示とガイドによるミニツアーを組み合わせることで、短時間でもホンモノの持つ魅力を体験できる。</li> </ul>

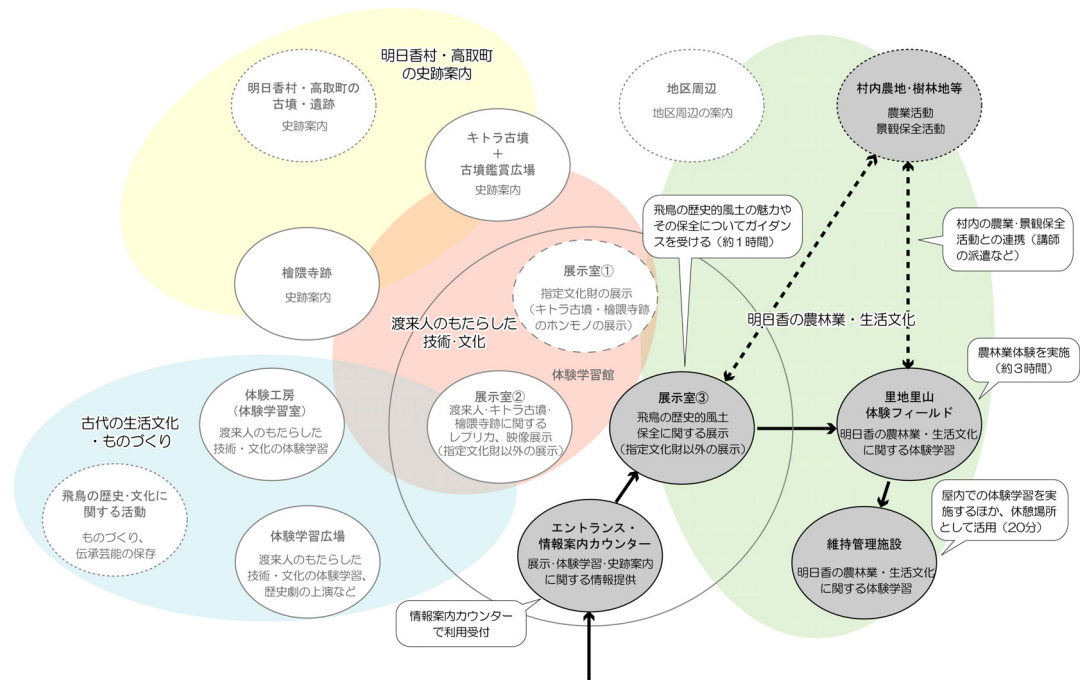
ターゲット	・歴史観光・文化財鑑賞を目的とした個人客（長時間滞在）
所要時間	半日
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示と史跡案内、体験学習など多様な手法を組み合わせることで、楽しみながら飛鳥の歴史を学べるプログラム。</li> <li>・飛鳥の歴史だけでなく、ものづくりや風土保全にも興味を持ってもらえるような情報提供を行い、体験学習等への参加を促す。</li> </ul>

### ③ものづくりプログラム I (一般来園者向け)



ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりを目的とした一般来園者(休日)</li> <li>・修学旅行、遠足などの学校団体(平日)</li> </ul>
所要時間	半日~1日
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡来人のもたらした技術・文化を「ものづくり」を通して実体験できるプログラム。</li> <li>・ものづくりだけでなく、展示による解説や実物資料の展示、橿原寺跡の見学などにより、飛鳥に暮らした渡来人についての総合的な歴史学習を行う。</li> <li>・飛鳥の歴史や文化に関するものづくりや伝承芸能などに関する活動を紹介し、村内各所への立ち寄りを促進する。</li> </ul>

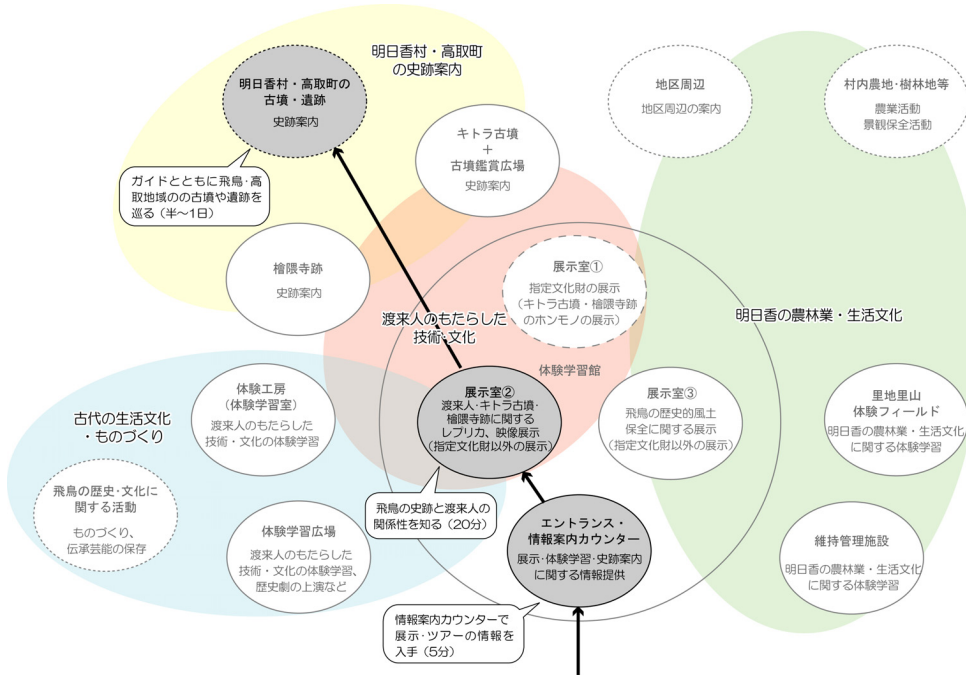
### ④農林業体験プログラム I (一般来園者向け)



ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業・生活文化体験を目的とした一般来園者(休日)</li> <li>・総合学習、環境教育などを目的とした学校団体(平日)</li> </ul>
所要時間	1日
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内樹林地や農地の維持管理などを通して、明日香の農林業や生活文化を実体験できるプログラム。</li> <li>・農林業体験の前に展示による解説やガイダンスを行い、飛鳥の歴史的風土の魅力とその保全について理解を高めるよう配慮する。</li> <li>・講師の派遣などにおいて地域の農林業や景観保全活動と連携し、参加者が飛鳥の風土保全への関心を高めるようにする。</li> </ul>

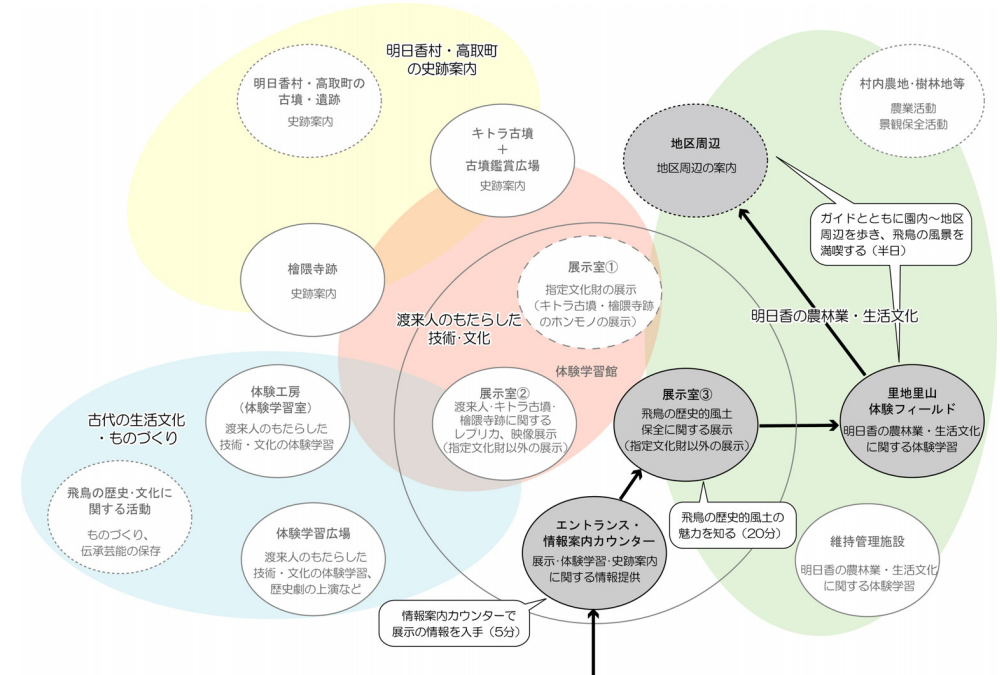


### ⑤ 史跡探訪プログラム



ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 史跡探訪を目的とした個人客・趣味サークル</li> <li>・ 一連の史跡学習を目的としたリピーター</li> </ul>
所要時間	半日～1日
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドとともに、飛鳥・高取地域の史跡を巡るツアープログラム。</li> <li>・ 展示・解説と史跡案内を組み合わせることで、飛鳥の歴史および史跡と渡来人の関係を理解できるプログラムとする。</li> </ul>

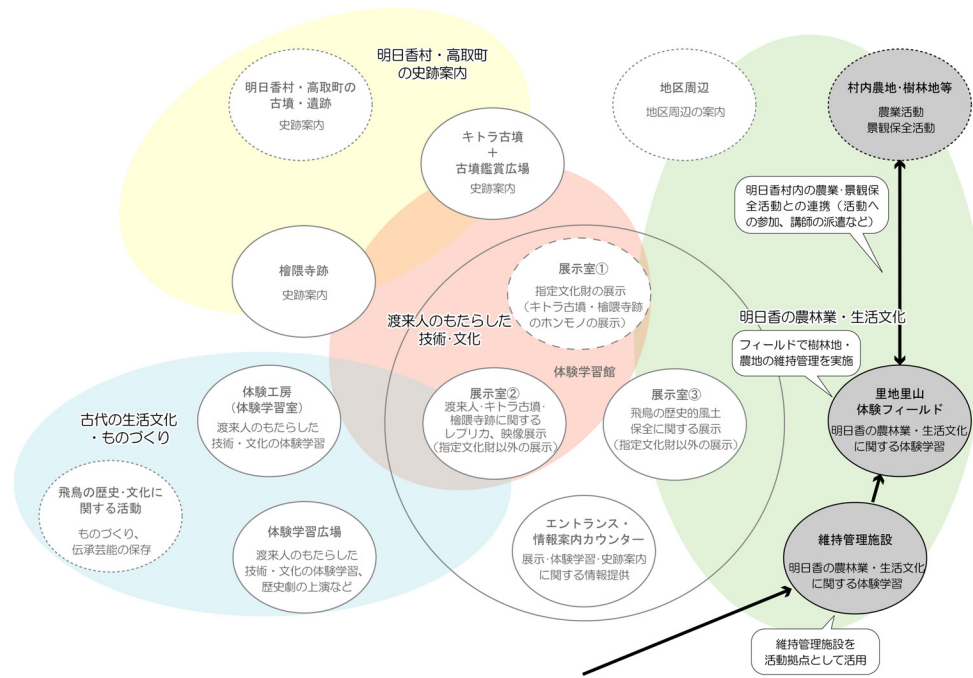
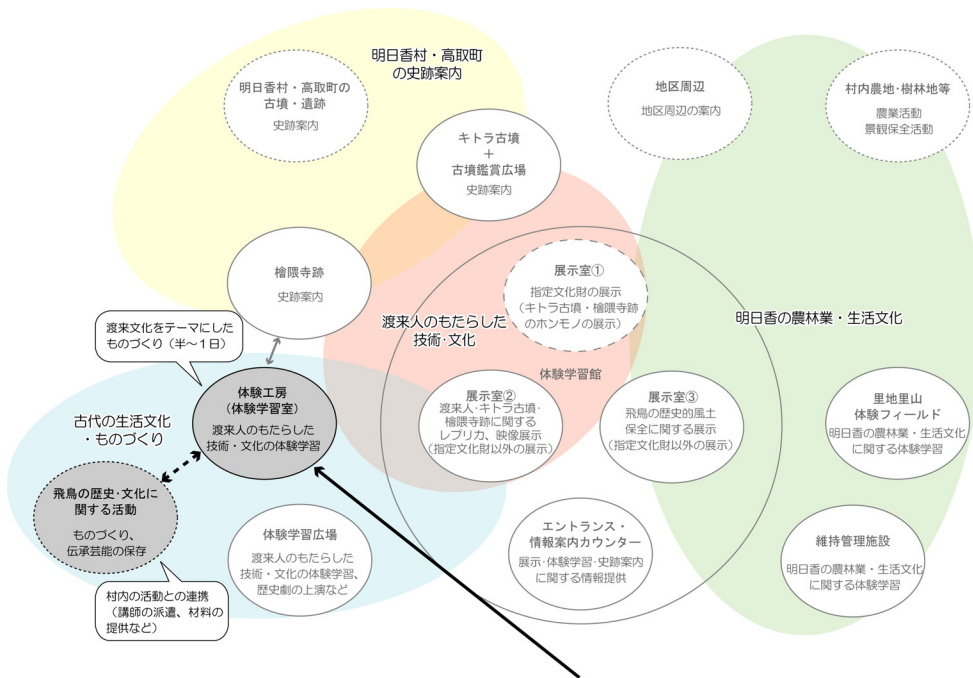
### ⑥ 飛鳥の風景満喫プログラム



ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛鳥の風景を楽しみたい一般の個人客。</li> <li>・ 風景画やカメラなどの趣味サークル・リピーター</li> </ul>
所要時間	半日～1日
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園内の農地や周辺地域（農地や集落景観）を巡るガイドツアーにより、飛鳥の風景を満喫するプログラム。</li> <li>・ 地域の人しか知らないスポットや、土地にまつわる話、飛鳥の景観保全活動など、飛鳥の風景をとりまく様々な事象を知ることのできるツアーとする。</li> </ul>

⑦ものづくりプログラムⅡ（リピーター向けの定期講座）

⑧農林業体験コースⅡ（リピーター向けの景観維持活動）



30

ターゲット	・本格的なものづくりを目的としたリピーター
所要時間	1日
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡来人のもたらした技術・文化をテーマにした本格的なものづくりを行うプログラム。</li> <li>・定期講座など通年で連続的に開催する形式で実施し、より高度なものづくりを行うとともに、リピーターの育成を図る。</li> <li>・講師の派遣や材料の提供などにおいて地域のものづくり活動と連携し、飛鳥ならではのものづくり体験ができるプログラムとする。</li> </ul>

ターゲット	・飛鳥の農林業・景観保全に携わりたいリピーター・団体
所要時間	1日
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内での樹林地や農地の管理を通して、地区内の景観保全活動（公園づくり）に携わるプログラム。</li> <li>・維持管理施設を拠点として、里地里山体験フィールドで農地・樹林地管理作業を実施する。</li> <li>・地域の活動団体から講師を派遣してもらうかわりに、村内の景観保全活動に参加するなど、地区内での活動の成果を地域の活動に発展させるプログラムとする。</li> </ul>

(6) 管理運営について

1) 管理運営に参画する可能性のある各主体及び参画時の効果

区分	機能	文化財部局	民間事業者	活動団体	
体験的歴史学習を展開するために必要な機能	展示・体験案内機能 (来園者が楽しく学ぶための機能)	展示・解説機能	専門性の高い展示・解説の展開が可能となる。	エンターテインメント性の高い展示・解説の展開が可能となる。	地域に伝わる展示物の提供などの展開などにより、充実した展示、解説が可能となる。
		体験学習機能	多様なプログラム展開が可能となる。	多様なプログラム展開が可能となる。	多様なプログラム展開が可能となる。
		史跡案内機能	専門性の高い案内が可能となる。	エンターテインメント性の高い案内が可能となる。	地域独特の詳しい解説等の展開が可能となる。
	展示・体験案内機能を支える機能 (サポート機能)	文化財管理・情報発信機能	文化財を保存管理は、専門性の高い文化財部局で実施。 情報蓄積、情報発信についても、専門性の高い部分については効果的。	エンターテインメント性の高い情報発信が期待できる。	地域独特の情報を織り交ぜた情報発信が可能。
		人材育成機能	文化財に関する研修について専門性の高い学習内容の提供が可能となる。	エンターテインメント性の高い学習内容の提供が期待できる。	地域独特の情報を織り交ぜた学習内容の提供が可能。
		管理運営機能	文化財の保存管理部分で拠点が必要。	施設設置から管理まで一括して民間事業者が行う場合は、拠点が必要。	活動内容に応じて、一時的に集合する場などは必要。
	便益・サービス機能 (来園者が快適に過ごすための機能)	便益・サービス機能		施設設置から管理まで一括して民間事業者が行う場合は、民間事業者による提供が望ましい。	
		便益・サービス機能 ( )		公園管理者が設置し、管理する施設としてすぐわないため、効果的、効率的に民間事業者により展開されることが望ましい。	

施設面積とのかねあい等を見ながら導入規模を検討

## 2) 管理運営イメージ

以上の各主体別の特徴及び条件比較を受けて、多様な主体と連携した施設の管理運営の特徴とイメージを以下に示す。

### 管理運営の特徴

特徴	<p>文化財調査・研究機関が携わることで、文化財を活用した展示・体験・学習が実現可能であるとともに、研究者との文化的交流が可能。</p> <p>飛鳥・高取地方の各種活動団体等との連携により、体験学習や史跡案内などの新しいサービスを提供できる施設となり、また地域活性化につながる事が期待できる。</p> <p>民間事業者等のノウハウを生かした高度なサービスの提供が期待できる。</p>
----	---

### 管理運営イメージ

